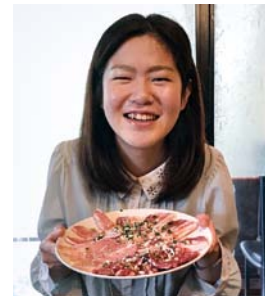


おおくさ ゆりえ
大草 有里枝 (社会・国際学群 国際総合学類 3年)



Omochi Language Clubとは

Omochi Language Club (通称おもち)では、日本人学生と留学生が集まり、お互いに外国語を練習するという活動をしています。始めの1時間は英語で、次の1時間は日本語でおしゃべりします。また、勉強したい人と教えられる人がいれば、フランス語やスペイン語など英語以外の言語も勉強できるのがおもちの特徴です。活動後には、希望者でそのまま夕食を食べに行きます！おもちには、文字通り世界中に友だちを作れるチャンスがあります。

私にとってのおもち

私はおもちを通して、本当にさまざまなものを得てきたように思います。

まず、言語交換のクラブなので英会話力はもちろんですが、会話の内容そのものから学ぶことも多いです。全く違うバックグラウンドで育ったみんなは異なる視点から物事を見ていて、その違いが新鮮で面白いのです。世界各地の人が一つのテーブルを囲み、専攻の話や政治・経済などの真面目な話から旅行や趣味の話、ここでは書けないようなくならない話まで…。客観的に見ると本当に貴重な経験をしてきたのだと感じます。初対面でいきなり「留学生とグループで自由におしゃべりしてください」とだけ言われる、こんな特殊かつハードな環境はおもちしかないでしょう(笑) コミュニケーション能力という点も、おもちを通して磨かれている気がします。

「コミュニケーション」という言葉をもう少し掘り下げてみたいのですが、私はいまだに英語があまりうまく使えません。まだまだ勉強途中という状態で、日本語がまだあまりうまくない留学生とコミュニケーションをとるのは難しく、特に大人数での会話はついていくので精一杯です。正直、「もっと英語しゃべれたら…」と悔しい思いや苦しい思いをしなかった日は一日もありません。しかしながら最近気づいたの

は、いくら英語を話せても友だちを作れない人もいる、言葉はやはり道具なのだということです。もちろん言語は相手を良く知るために、自分をよく表現するために強力なツールの一つであるのは間違いありません。それでも、たとえ言葉に不安があっても、相手を知ろうとする姿勢や相手を楽しませたいという気持ちこそが最も重要であり、それは確実に相手に「伝わる」のです。何を話すか、どのように話すか、どう関わるか、そういったことまで意識する必要がありますのだと感じています。

最後に、一番大きな財産はやはり友情です。私はおもちを通じて、世界のあちこちに友だちを作ることができました。日本語の勉強や研究に一生懸命な姿勢に刺激を受けたり、彼らの話から新たな知識や視点を得たりしています。彼らといて飽きることは全くなく、いつも元気や勇気をもたらしています。特に仲の良い友だちとは、台湾を案内してもらったり、休日と一緒に東京にお出かけしたり…。一つひとつの出会いが深まり強い絆ができたからこそ、かけがえない思い出を作れています。帰国してしまった友だちともSNSを通じて連絡をとっており、友だちに会いに世界中を旅するのが私の夢です。

次はあなたも！

私はおもちを通して本当に数えきれない人たち(留学生も日本人学生も)に出会ってきました。これらの出会いは私の財産であり、こういった出会いの場を提供しているおもちは素晴らしい環境であると自負しています。世界中に友だちがいるって単純に素敵だと思いませんか？少しでも興味がある方は、Facebookにて「Omochi Language Club-おもち」をチェックしてみてください！

Facebook : Omochi.Tsukuba



K-POP好きの友達と新大久保へ



友だちの大切な人たちと